



カルビーグループの目指すサステナブル経営とは

■ 新たな「食の未来」を創造し、持続可能な社会を実現する

新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、広く人々の価値観やライフスタイルに多大な影響を与えました。そのなかで、持続可能性が強く意識される社会への大きな変化を感じています。

カルビーグループの事業は、「私たちは、自然の恵みを大切に活かし、おいしさと楽しさを創造して、人々の健やかな暮らしに貢献します。」との企業理念を掲げ、原料や素材を活かした価値の創造と、需要の創出、そしてその供給で成り立っています。今日、この循環の持続可能性を高める上でも、気候変動や資源枯渇といった環境問題への対処や、サプライチェーン上の労働負荷や人権などの社会課題への対応が求められています。カルビーグループは、生産者・取引先・地域社会・コミュニティなどのステークホルダーと協働しつつ、これらの課題を解決し、事業の継続と成長の両立を図っています。具体的な取り組みとしては、温室効果ガス総排出量の削減や、RSPO認証パーム油の使用、環境に配慮した包材への切り替え等を今後も進めていきます。

カルビーグループは、2030年に向けた長期ビジョン「Next Calbee 掘りだそう、自然の力。食の未来をつくりだす。」を打ち出し、国内事業はもとより、海外事業と新たな食領域での成長を目指しています。私たちは、食を通じてライフラインをつなぎ、持続可能な社会に貢献する企業として、さらなる変革と挑戦を続けてまいります。

▶ トップ対談 *Check* /

不二製油グループ本社株式会社CEO補佐 立教大学特任教授 河口 真理子さんと当社代表取締役社長兼CEO 伊藤 秀二がサステナビリティに関する特別対談を行いました。

<https://note.calbee.jp/n/n9d784555ba78>

※PCで開く場合、noteではGoogle Chromeや、Microsoft Edgeを推奨しています。



カルビー株式会社
代表取締役社長兼CEO

伊藤 秀二

2030年に向けた環境に関する主な目標

- ▶ 温室効果ガス総排出量削減
温室効果ガス総排出量**30%削減**（2019年3月期比）
- ▶ 資源保全/循環型社会の実現
水の総使用量**10%削減**（2019年3月期比）
廃棄物排出量**10%削減**（2019年3月期比）
- ▶ プラスチック容器代替・削減
環境配慮型素材**50%使用** → 2050年**100%使用**
- ▶ 環境・人権に配慮した持続的な調達
認証パーム油**100%使用**



カルビーグループの環境への取り組み



TCFDフレームワークに基づく開示を実施

カルビーグループにとって気候変動は事業の持続的成長に影響を及ぼす重要課題であると認識しております。2020年2月に賛同した気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) の提言を踏まえ、CalbeeReport2021 (カルビーグループ統合報告書) にてシナリオ分析に基づくリスクの内容や、気候変動に関する取り組みなどを開示しました。詳しい内容はWEBサイトをご覧ください。



<https://www.calbee.co.jp/ir/library/report/>



全国の工場で使用する電力を再生可能エネルギーに順次切り替え

2019年5月に策定した中期経営計画で、2030年までの温室効果ガス総排出量30%削減(2019年3月期比)を打ち出しています。これまで一部工場や事業所において、クレジットによる「カーボンオフセット電力」や従来型の非化石証書を付帯した電力を購入してきました。今期は、その取り組みをさらに加速させ、各務原工場(岐阜県各務原市)、湖南工場(滋賀県湖南市)、京都工場(京都府綾部市)、広島・広島西工場(広島県廿日市市)での再生可能エネルギー電力の導入を進めています。今後、さらなる省エネを進めるとともに、ゼロエミッション価値を顕在化させた「CO₂フリー電力」の導入によって、温室効果ガス総排出量削減と再生可能エネルギーの拡大にも貢献してまいります。

再生可能エネルギー電力への切替状況

カルビーグループ拠点	切替時期
下妻工場・北海道工場	2020年
ジャパンフリトレイ(株)古河工場・カルビーポテト(株)宇都宮事業所・カルビーロジスティクス(株)宇都宮センター・カルビーロジスティクス(株)埼玉センター	
鹿児島工場	2021年2月
各務原工場・湖南工場・京都工場	2021年4月
広島工場・広島西工場	2021年9月



環境や人権に配慮した「RSPO認証パーム油」を購入開始

グループの国内工場において、2021年7月より、RSPO認証パーム油(マスマランス方式)の購入を順次開始しました。

パーム油は、アブラヤシの果実から採れる油の総称で、食用油のほかマーガリン・ショートニング・石鹸の原料用として、世界で最も生産されている植物油です。パーム農園の開発に起因する、森林伐採や生物多様性の消失などの環境破壊、強制労働や児童労働などの人権侵害が大きな社会問題として指摘されてきました。

当社グループは、主に生産のフライ工程などの調理油としてパーム油を使用し、年間約4万トン調達しています。同時に、認証パーム油を2030年までに100%使用とする目標を掲げ、そのための導入を段階的に進めています。

この施策は、サステナブル経営の重点テーマである「環境や人権に配慮した持続的な調達」に向けた取り組みの一環となります。



サステナビリティサイトのリニューアル

カルビーグループは、持続的な事業活動と新たな価値を創造するために、環境問題などの社会課題を解決することは必要不可欠であると捉え、サステナブル経営を推進しています。今般リニューアルしたサステナビリティサイトでは、「カルビーグループのサステナブル経営の考え方」を示すと同時に、中長期視点で特定した重要課題(マテリアリティ)に基づく重点テーマの目標や施策をステークホルダーの皆さまへ分かりやすくお伝えしています。加えて、環境・社会・ガバナンスに関する取り組みの進捗状況をご理解いただくため、ESG関連のパフォーマンスデータの開示を充実させました。



<https://www.calbee.co.jp/sustainability/>



「カルビー・とちぎ自然と恵みの森」をつくる活動開始 栃木県と森林整備に関する協定締結 ～持続可能な水資源循環への取り組み～

2021年9月28日、栃木県が実施している「企業等の森づくり推進事業」に参画するため、栃木県と協定を締結しました。活動主体となるカルビー新宇都宮工場は、グループ内の各製造現場と同様、地下水の利用を通して水源域にある森林の恩恵を受けています。カルビーグループは、本協定に基づき森林整備に取り組むことで、持続可能な水源涵養機能の維持・向上を目指してまいります。

－ 栃木県「企業等の森づくり推進事業」とは －

森林の持つ公益的機能の向上と森林・林業に対する理解の促進を図るため、企業等(法人や団体を含む)と、栃木県および土地所有者で協定を締結し、企業等の協力により森林活動を実施する事業です。

— 特集 —

カルビープラス 10周年

カルビープラスは、2021年12月に10周年を迎えます

▶ カルビープラスとは？

カルビープラスは、直接お客様とコミュニケーションをとることにより、世界中にカルビーファンをつくることを目的として、2011年12月にオープンしたカルビーのアンテナショップです。ポテトチップスやポテトスナックをその場で召し上がっていただいたり、地域限定商品やショップ限定商品を購入することができます。現在は全国に12店舗展開しています。

店舗情報 ▶ <https://www.calbee.co.jp/calbeestore/shop/>

▶ 期間限定！おすすめ商品

「揚げたてポテトチップス のりまみれ」(2022年1月終売予定)

カルビープラスでは、生のじゃがいもから皮をむき・スライス・フライといったポテトチップスの製造工程を店頭で行い、揚げたてのポテトチップスをお客様に提供しています。

徳島県吉野川産の「スジ青のり」を使ったこちらの商品は、鮮やかな色と豊かな香りを存分にお楽しみいただけます。

販売店 ▶ 新千歳空港店、東京駅店、海老名SA店、ららぽーとEXPO CITY店、神戸ハーバーランドumie店



価格:310円(税込み)

▶ 今年度のテーマは「会いに行きます。」！

これまでも期間限定で駅や商業施設などに店出し、物販商品を販売してまいりましたが、お客様に“もっとカルビープラスらしいワクワク”をお届けしたいと考え、じゃがりこから生まれたホットスナック「ポテリこ」を食べられる『ポテリこカー』での販売を開始しました。物販商品も同時に販売し、これまでお会いできなかったお客様との新しい接点を模索していきます。

進化を続けるカルビープラスのこれからの10年にますますご期待ください！



実施場所・期間についてはWEBサイトをご覧ください(随時更新) <https://www.calbee.co.jp/calbeestore/>

オンラインショップ
もあります！

▶ 取扱商品例



いもこまちカートン立体



無限ポテトチップス
香ばし鶏しお味



インカのめざめカートン立体

<https://shop.calbee.jp/marche/shop/pages/lp-autumn.aspx#>

PICK UP 節目を迎えたブランド商品紹介



朝食市場参戦で急成長！
「フルグラ®」
30周年

「フルグラ®」は、1991年3月に発売(当時は「フルーツグラノーラ」)。長らく売上は30億円程度で推移していましたが、2012年頃から時短需要や健康志向の高まり等を背景に、朝食市場での販売強化を図った結果、国内のシリアルブランド売上No.1*の商品となりました。
*インテージSRJ+データ:シリアル2020年9月~2021年8月累計販売金額



秋冬の定番！
「おさつスナック」
40周年

「おさつスナック」は、1981年11月に発売。さつまいもの葉っぱを模したかわいらしい形状で、カルビーの「サッポロポテト」に次ぐ野菜スナックとして注目を集めました。1996年から秋冬の季節限定商品になり、2004年からペースト状の焼きいもを練り込んでコクをアップさせるなど、これまで改良を重ね、お客様からは「おさつの季節がやってきた！」と毎年の発売を楽しみにしていただけの商品に成長しました。

独自のサクッ！ホクッ！
とした食感が楽しめる
「Jagabee (じゃがビー)」
15周年



「Jagabee」は2006年4月に発売。以来、じゃがいものおいしさにこだわり進化を続けてきました。これからも素材がもつ魅力と味わいを最大限活かし、お客様の日常に、ほろこりするひとときをお届けする存在でありたいと考えています。



本社オフィスを全面リニューアル！

～“畑”をモチーフに、新たな価値やアイデアがより共創しやすい空間へ～

カルビーは、共感(エンゲージメント)・協働(リレーション)・共創(コラボレーション)をキーワードに東京・丸の内の本社オフィスを全面リニューアルし、2021年9月より同オフィスでの業務をスタートしました。

新オフィスのコンセプト

“畑”をモチーフとし、コンセプトを「Dig up field～新しいを掘りだそう～」としました。カルビーは、「掘りだそう、自然の力。」をコーポレートメッセージに、40年以上にわたり、契約生産者と二人三脚で原料のじゃがいもづくりに取り組んでいます。新しいオフィスでは、カルビーがこれまで大切にしてきた自然の恵みが至る所で感じられ、“作物が実る畑のように、アイデアが生まれるオフィスにしたい”という思いを込めました。このコンセプトを2つの畑が重なり合うデザインで表現したロゴも作成いたしました。



新オフィスの主な特長

1 モチーフの“畑”が感じられる空間

木材の縦格子が天井まで続くエントランスは、“畑”の畝(うね)をイメージしています。また、空撮した畑を表現した植栽「グリーンアート」を壁面に施すなど、新オフィスのモチーフである“畑”のぬくもりが感じられるように工夫しました。



2 カルビーらしさ、遊び心があふれる会議室

会議室は全10部屋あり、その多くは「ポテトチップス」や「じゃがりこ」、「フルグラ®」、「ドリトス」などカルビーグループの商品の名前がついています。各部屋の吸音パネルや家具の色は商品を感じられるように選定し、部屋の扉には、商品のイメージを施しました。また、カフェスペース「Patio」(パティオ)の天井には、じゃがいもを模したイラストを配すなど、所々でカルビーらしさを感じられる楽しい空間を実現しました。

3 新しい働き方に対応した執務エリア

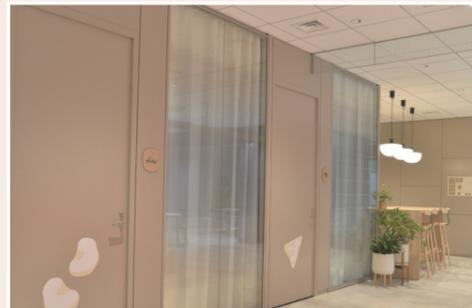
オンライン会議に適したブース型の部屋や、周囲の音を気にせず仕事ができる電話ボックス型の部屋、立って仕事ができる長机、雑談が生まれやすく気軽に集まれるスペースなどを設けました。



“畑”の畝(うね)をイメージしたエントランス



グリーンアート



扉に商品のイメージを施した会議室



カフェスペース「Patio」



電話ボックス型の部屋



ブース型の部屋

英国・Calbee Group (UK) Ltdで健康志向の豆スナック「HARVEST SNAPS」を販売開始

「HARVEST SNAPS」は、豆を原料とし、“素材重視”で、“本物の味”、“体にやさしい”をコンセプトに開発され、米国・オーストラリア市場で高い人気を誇るカルビーグループの主力ブランドの一つです。2021年9月、Calbee Group (UK) Ltdは、「HARVEST SNAPS」を商品ラインアップに加え、英国での事業強化を進めています。こちらの商品は2022年4月施行の英国HFSS規制※をクリアしており、新型コロナウイルス感染症拡大を契機に加速している健康志向にも対応したものです。

カルビーグループは、海外事業を次なる成長の軸として確立するとともに、グローバル規模での社会との共創を強化してまいります。

※HFSS規制=High in Fat, Sugar and Saltの食品/飲料に対する規制(広告・販促活動に制限が課される)



その他のオウンドメディア・公式SNSアカウント

最新のニュースやトピックスは下記にて掲載しております。

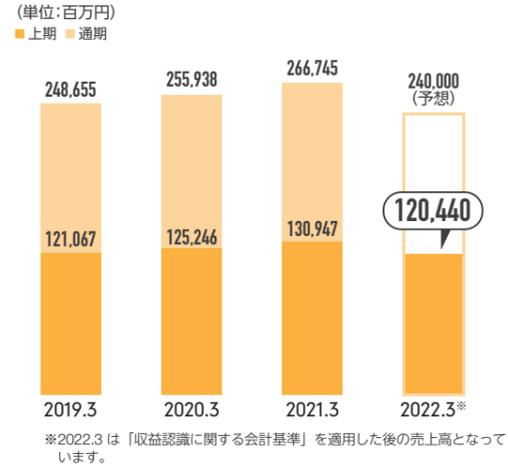
- 🏠 ホームページ <https://www.calbee.co.jp/>
- 📘 Facebook <https://www.facebook.com/Calbee.JP>
- 🐦 Twitter https://twitter.com/calbee_jp
- 📷 Instagram https://www.instagram.com/calbee_jp/
- 📺 YouTube https://www.youtube.com/c/Calbee_jp/
- 📞 LINE https://page.line.me/calbee_jp
- 📖 じゃがいもDiary <https://www.calbee.co.jp/diary/>
- 📝 note [THE CALBEE] <https://note.calbee.jp/>

※PCで開く場合、noteではGoogle Chromeや、Microsoft Edgeを推奨しています。

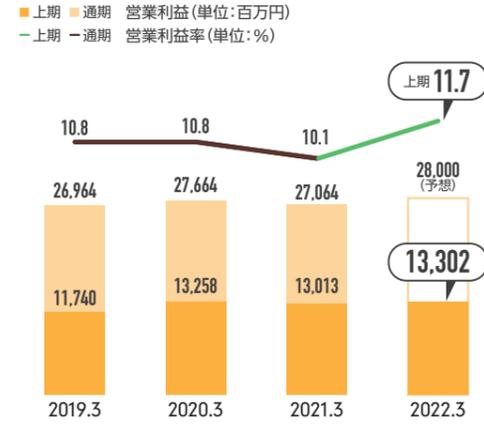




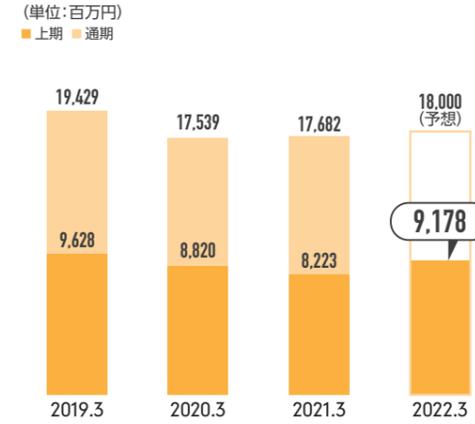
売上高



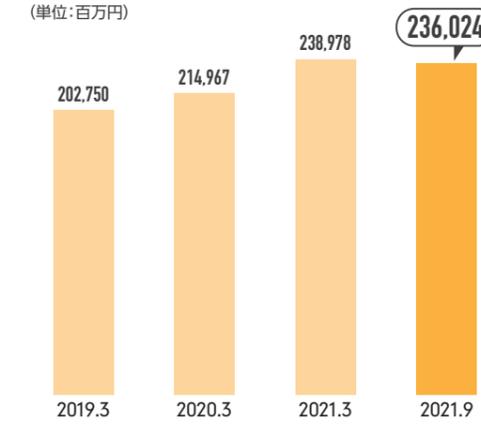
営業利益・営業利益率



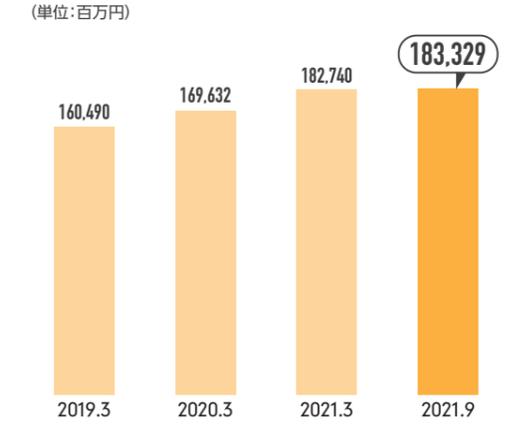
親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益



総資産



純資産



企業情報・株式情報

(2021年9月30日現在)

会社概要

社名 カルビー株式会社
 本社所在地 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3
 丸の内トラストタワー本館22階
 設立 1949年4月30日
 従業員数 1,863名(連結4,353名)
 ※臨時従業員は含んでおりません。

役員 (2021年9月30日現在)

代表取締役社長 伊藤 秀二 ※取締役 宮内 義彦
 代表取締役副社長 江原 信 ※取締役 シルビア・ドン
 専務取締役 菊地 耕一 ※常勤監査役 出村 泰三
 ※取締役 茂木 友三郎 ※監査役 石田 正
 ※取締役 高原 豪久 ※監査役 大江 修子
 ※取締役 福島 敦子 ※社外取締役 ※社外監査役

株式の状況

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
176,000,000株	133,929,800株*	39,847名

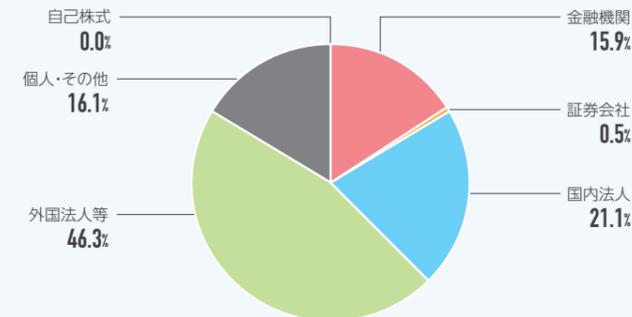
*自己株式数1,011を含む

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
FRITO-LAY GLOBAL INVESTMENTS B.V.	26,800	20.01
一般社団法人幹の会	18,660	13.93
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,286	9.17
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140051	4,783	3.57
GIC PRIVATE LIMITED -C	4,322	3.23

(注)1. 持株比率は、自己株式1,011株を控除して計算しております。
 2. 持株比率は、「株式付与ESOP信託口」が所有する67,500株および「役員報酬BIP信託口」が所有する195,700株を含めて計算しております。

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月開催
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 (郵便物送付先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081
 新東京郵便局私書箱第29号
 (電話照会先) 0120-232-711 (通話料無料)
 特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
 (電話照会先) 0120-782-031 (通話料無料)
 公告方法 電子公告により行います。
 (下記のホームページに掲載いたします。)
<https://www.calbee.co.jp/>
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。